

条例点検報告書(素案)の主な修正内容

修正項目	修正内容	該当ページ及び細項目
1 社会経済情勢の変化等	人口減少に対する危機感等に関する認識を表すため、年齢別人口に関する分析を追記した。	P2~3 (1)北海道を取り巻く情勢変化
	医師数については、利用可能な最新データに改めるとともに、市部町村部の比較データを追加し、データから地域偏在が理解されるよう工夫した。	P4~5 (2)各連携地域の状況 ③医師数
	総生産額については、可能な年度の過去データを提示し、全道の推移及び地域別状況が示されるよう、記述を変更した。	P5~6 (2)各連携地域の状況 ④総生産額
	農業に関して期待される状況等があることから、追記するとともに、近年の状況を把握するため、データを販売農家数として農業構造動態調査も引用した。	P6~7 (2)各連携地域の状況 ⑤農家戸数
	地域づくりの担い手としての市民活動団体の動きについて分析するため、NPO法人の状況について、追記した。	P7 (2)各連携地域の状況 ⑦市民活動等の担い手団体数
2 地域振興施策の実施状況	政策提案制度の仕組みと実施状況が理解されるよう、仕組みを図によりわかり易く表示するとともに、政策提案に係る施策への反映状況を具体的に追記した。	P14~15 (2)道民意見等の反映
	職員派遣の成果を具体的に示すため、地域振興派遣における取組成果の事例を追記した。	P32~33 (4)職員の交流
	地域振興の担い手育成の具体的な内容を示すため、多様な担い手からなる「新しい公共」の体制構築を図り地域課題を解決するためのモデル事業について、具体的事例を追記した。	P35~36 (5)人材の育成等
3 課題及び今後の取組方向	懇話会における意見等を踏まえ、加筆、修正を行った。 【主な修正点】 ・全体の総括部分を「(1)これまでの主な取組」として追加し、条例施行後の取組内容をわかり易く簡潔に記述するとともに、その取組成果を具体的に例示した。 《課題》 ・地域資源を活かした取組の推進や人材育成の必要性を追加した。 ・震災における行政機能の維持・確保のための広域的な視点での取組の必要性について追加した。 ・多様な手法による連携など自治体を取り巻く状況変化に対応する必要性について、より詳細な説明を追加した。 ・地域における振興局の役割の重要性に鑑み、地域づくりの拠点としての振興局に関する記述を追加した。 《今後の取組方向》 ・道の取組スタンスを明示し、全体的に主体的な表現とした。 ・地域資源を活用し、経済循環を高める取組の記述を追加した。 ・地域づくりの拠点である振興局の記述を追加した。 ・震災に関する記述に広域的な連携の視点を追加した。 ・地域振興を担う人材育成の記述を追加した。 ・分権改革の取組に関し、「地域が主体となる社会の実現を目指した取組」を付記した。	P43~45